



朝の主役は僕たちだ!!

〜主体性を大切に〜



2022年9月

きらりでは土曜日や祝日、長期休暇中に来所する児童を対象とした朝の活動として「朝の会」を全事業所で取り入れています。

朝の会の内容として、最初に司会の児童に、指導員も含め参加者全員の名前を呼んでもらい（名前を呼ぶことが難しい児童は、指差しなどを行い）、出席確認やその日の体調チェックを行ってもらっています。そうすることで、それぞれが自分以外に誰がいるのか顔を見渡して他者を意識するきっかけ作りの場となっています。

また子どもたちの中には、急な予定の変更や先の見通しが持てないことに不安を抱く児童もいるため、朝の会で一日のスケジュールや取り組み内容を伝え、全体で動きが取りやすいように意思統一を図る事も大きな目的としています。



朝の会でみんなが集まってもらう時は、その日の参加児童の年齢や障がい特性に応じて「手遊び」や

「絵本の読み聞かせ」、好きな曲を流して「ダンス」などを行い、自然とみんなの輪の中に入りやすい環境作りも意図的に行っています。



そのあとはみんなが楽しみにしている今日の司会者の選出です！

自分から立候補する意欲的な児童もいれば、お友達から後押しされて「頑張ってるやってみようかな…」と恐る恐る手を挙げる児童などその様子は様々ですが、自信がなくても「やってみよう」の気持ちを大切に、指導員も横に立ちフォローを入れることで、その児童も徐々に安心してきて、「○○さん元気ですか!」とお友達の名前を呼ぶ声も大きくなり、自信に満ちていく様子が感じられます。

朝の会自体は短時間の活動となりますが、日々の活動プログラムの積み重ねで子どもたちに「人前で話す力」や「主体的に活動する力」といった、今後の社会生活に必要な力を身に付けてもらうための大切な役割を担っていると捉えています。

また朝の会が単に指導員からの連絡や反省に終始したものなることを防ぐため、「丁寧でわかりやすい伝え方」とはどういった口調か、朝の会を子どもたちと一緒に進める指導員の盛り上げ方や言葉遣いだけでなく、周囲の指導員の雰囲気作りや朝の会への参加が難しい児童への対応方法など、子どもたちにとってより有意義な時間となることを目指して、日々のミーティングや職員会議等で意見を出しあい進めてきました。

どの児童も今日一日の期待感を抱いて来所しています。児童同士の出逢い、児童と指導員との出会いの場が朝の会から始まります。気持ちの良いスタートが切れるように、施設の主人公である子どもたちが意欲的に行動できるように、今日もみんなで元気に挨拶しましょう!

「みなさんおはようございます!!」

